

専門実践教育訓練講座指定校

入校案内

三友堂看護専門学校

1 学年定員 40 名 (男女) / 修業年限 3 年



人を支えています

看護への道

あなたのやさしさが



The Way to Nursing

心と心のコミュニケーション それが看護への道です。

今、看護への道を目指し、開いたばかりの小さな芽。

そんなあなた達がこれから学ぶのは、真の“看護の心”です。

看護をすることは、

患者さんと心からのコミュニケーションをとること、

深い信頼関係を結ぶことです。

大切なのは心と心のふれあい。

人との結びつきがいのちを助け、生きる力の源となる。

常に温かいまなざしを持ち、心と心で会話すること。

看護の道はここから始まります。



校章

七宝紺青の地に白をあしらひ金の枠どりをほどこす。中心に雪の結晶六花を置き雪国の看護文化を象徴する。それを囲んで紅花色に三友堂看護専門学校の頭文字を金字に彫り込む。三方に開く桜の花弁は、生命の尊重を基盤とする看護の知識・技術（アート）・情意の均衡ある伸展を希求する。また、これらを取り巻く二つの輪は地域社会と保健医療の円陣を意味し、それを連結する三つの灯は、信・望・愛を表わす。

三友堂看護専門学校は、明治45年7月に看護婦講習所として開設し、以来数度の組織改革を経て昭和57年4月に現在の姿となりました。この長い歴史の中で、私どもは一貫した教育方針を掲げて教育にあたり、多くの卒業生たちを送り出して参りました。

これからの社会現象のニーズに応じて看護師に求められる能力や役割も益々幅が拡大しております。しかし、いつの時代にも看護に必要とされる最も基本となるもの、それは信頼関係です。人間を愛し、誠意を持って接する態度こそ本来の看護の姿であるとともに、自らを成長させてくれるでしょう。みなさんが、社会人としての良識と専門的な知識、そして技術を、仲間とともに学び、習得するために、よりよい環境とカリキュラムを用意しています。



三友堂看護専門学校
学校長 仁科盛之

教育の方針

教育理念

三友堂看護専門学校は、山形県南地域(置賜地域)唯一の看護学校として、地域住民の健康の支援者として活躍できる質の高い看護師を育成することを責務としている。

人間を愛し、誠意をもって接することのできる職業的適応性を身につけた豊かな人間を育成する。そして、科学的根拠に基づいた知識・技術を用い、人間の健康生活を支援することができる基礎的な看護実践能力を育成する。

また、社会の要請に対応して看護の役割を認識し、看護学の発展を通じて保健医療福祉の向上に共同して貢献できる能力を培う。

教育目的

看護師になるための基礎的専門教育を行って、知識・技術・態度・価値を培うと同時に、有能な社会人としての人間の成熟をはかることを目的とするものである。

そして、人々の健康問題に関わって保健医療福祉のチームメンバーとして活動し、公共の福祉に貢献できる人材となるよう援助する。

教育目標

1. 専門知識・技術・態度を習得して、職業的適応性を身につけた豊かな人間形成をめざすこと
2. 看護の対象である人間を、身体的・精神的・社会的に統合された存在としてとらえるとともに、生活者として理解できる能力を養うこと
3. 人々の健康の保持増進、疾病の予防、健康障害のケア、リハビリテーション、終末期における健康課題をとらえ、その緩和や解決のための基礎的能力を養うこと
4. 科学的根拠に基づいた看護を安全・安楽に実践できる能力を養うこと
5. 人々が社会資源を活用できるように、保健・医療・福祉制度を総合的に理解し、それらを調整する能力を養うこと
6. 学習意欲を高め、自主性と自己啓発の態度を養うこと
7. 社会的関心を持ち、公共の福祉に役立つこと

本学の歩み



明治19年 (1886)	三友舎を現在地座頭町3411番地に起こし医業を開始
明治43年11月(1910)	三友堂病院と組織を改正
明治45年 7月(1912)	看護婦講習所を設置し看護教育を開始
大正 9年10月(1920)	山形県より看護婦講習所の指定を受く
昭和 8年 4月(1933)	看護婦養成所と改称
昭和25年 1月(1950)	財団法人三友堂病院と組織を改正
昭和29年 4月(1954)	財団法人三友堂病院付属看護婦養成所と改称、校舎を北寺町西の町へ移転
昭和31年 4月(1956)	財団法人三友堂病院付属看護学院と改称
昭和54年 4月(1979)	高等看護学院設立準備を開始
昭和54年12月(1979)	県より移管された旧ろう学校寄宿舎を高等看護学院校舎として改築開始
昭和55年 4月(1980)	財団法人三友堂病院付属看護学院の生徒募集中止
昭和55年 4月(1980)	高等看護学院設立準備室を設置
昭和55年 5月(1980)	校舎改築完成し設立準備室を城北2-3-2に移転
昭和56年12月(1981)	厚生大臣より財団法人三友堂病院高等看護学院の許可を受く
昭和57年 4月(1982)	財団法人三友堂病院高等看護学院事業開始
昭和59年12月(1984)	財団法人三友堂病院看護専門学校と改称
昭和60年 3月(1985)	第一期生15名卒業
平成 2年 4月(1990)	教育課程改正により新カリキュラムによる教育開始
平成 7年 4月(1995)	米沢市中央7丁目5番3-1号に新校舎新築移転。学生定員を男女合わせて45名とする 推薦入学制実施 文部大臣認可により専門士の称号付与
平成 9年 4月(1997)	教育課程改正により新カリキュラムによる教育開始。学生定員を男女合わせて40名とする
平成13年 4月(2001)	社会人入学制実施
平成14年 1月(2002)	保健婦助産婦看護婦法改正により「看護婦」の名称が「看護師」と改正
平成25年 4月(2013)	三友堂看護専門学校と校名変更
平成27年 4月(2015)	専門実践教育訓練講座指定校となる

この3年間で目指す *professional* プロフェッショナルへの道

Step 1
基礎分野

Step 2
専門基礎分野

Step 3
専門分野 I・II

Step 4
統合分野

卒業
国家試験へ

Step 1

基礎分野



人間理解の視野を広げ、健康で豊かな心を養います。

看護師になるためには、心身ともに健康であり、人間に対する愛情と知識に対する好奇心をもつことが大切です。そして感性を磨いていくことが、患者さんを尊重し、心の動きを受け止めた看護へとつながっていきます。基礎分野の学習は人間理解の視野を広げ、健康で豊かな心を養うステップとなるでしょう。



Step 2

専門基礎分野



看護の基礎となる知識・技術・態度を学びます。

看護を学ぶには、健康な体の仕組み・働き・発達の知識が基礎になります。その上、病気の成り立ち・治療と健康な生活をおくるための社会資源についての知識も大切な事柄です。専門基礎分野の学びは、直接看護上には見えない部分ですが、プロフェッショナルとして最も問われる分野です。



Step 3

専門分野
I・II



**看護の対象の発達段階を理解し、
様々な健康状態にある人々及び多様な場で
看護を必要とする人々に対する看護の方法を学びます。
また、チームの一員としての役割、保健・医療・福祉との
連携、協働を通じた看護の実践を体験します。**

看護は年齢・性別・生活の場を問わず、ありとあらゆる場面で必要とされます。具体的に看護を受ける対象の理解や技術を含めた看護の方法を学ぶのが専門分野です。すべてに通じ看護の基礎となる基礎看護学、発達段階から見た母性・小児・成人・老人の対象の理解と看護の方法、心の看護、そして、家での看護を受ける在宅看護論や臨床看護実践能力を高めるための総合分野で成り立っています。

教室で学習したことを立体的に学ぶのが臨床実習です。実習によってより適切な看護について深めると同時に、それぞれの分野で学習したことを統合する学習の場です。



Step 4

総合分野



**基礎分野から専門分野IIを統合して、
より臨床実践に近い状況を想定した看護を学びます。**

以下の内容を講義、演習、実習を通して学びを深めていきます。

- チーム医療及び他職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップ及びリーダーシップを理解する。
- 看護をマネジメントできる基礎能力を養う。
- 医療安全の基礎的知識を理解する。
- 災害看護の特徴及び災害サイクルに沿った看護活動ができるための基礎的知識を理解する。
- 国際社会において、世界の健康問題を理解し、広い視野で看護師として諸外国との協力を理解する。




カリキュラム

(令和3年度)

3年間の履修単位 103 単位 (3,030 時間)

基礎分野			1
科目	単位	時間	
化学	1	30	
論理学	1	30	
英語	1	30	
情報処理	1	15	
英会話	1	30	
生活科学	1	15	
社会学	1	30	
心理学	1	30	
教育学	1	30	
人間関係論	2	45	
保健体育	2	60	
メンタルトレーニング	1	15	
計	14	360	



専門基礎分野			2
科目	単位	時間	
解剖学	2	45	
生理学Ⅰ	2	45	
生理学Ⅱ	1	30	
生化学	1	30	
健康栄養学	1	15	
病理学	1	30	
病態生理学Ⅰ	1	30	
病態生理学Ⅱ	1	30	
病態生理学Ⅲ	1	30	
病態生理学Ⅳ	1	30	
病態生理学Ⅴ	1	30	
微生物学	2	45	
薬理学	1	30	
臨床薬理学	1	15	
保健医療論	1	15	
臨床栄養学	1	15	
社会福祉学Ⅰ	1	15	
社会福祉学Ⅱ	1	15	
公衆衛生学	1	15	
関係法規	1	15	
計	23	525	

※令和4年度より改正カリキュラムが施行となりますので、新カリキュラムは入学後にお知らせします。

授業時間

- 1 時限目 ● 9:00 ~ 10:30
- 2 時限目 ● 10:40 ~ 12:10
- 3 時限目 ● 13:10 ~ 14:40
- 4 時限目 ● 14:50 ~ 16:20

※土・日・祝日は休みです。
※行事等がある場合は代休があります。

専門分野Ⅰ		
科目	単位	時間
●基礎看護学		
基礎看護学概論	1	30
基礎看護学方法論Ⅰ	1	30
基礎看護学方法論Ⅱ	1	15
基礎看護学方法論Ⅲ	1	30
基礎看護学方法論Ⅳ	1	30
基礎看護学方法論Ⅴ	1	30
基礎看護学方法論Ⅵ	1	30
基礎看護学方法論Ⅶ	2	45
基礎看護学方法論Ⅷ	1	30
基礎看護学方法論Ⅸ	1	30
臨床看護	1	30
●臨地実習		
基礎看護学実習Ⅰ	1	45
基礎看護学実習Ⅱ	2	90
計	15	465



専門分野Ⅱ		
科目	単位	時間
●成人看護学		
成人看護学概論	1	30
成人看護学方法論Ⅰ	2	60
成人看護学方法論Ⅱ	2	60
成人看護学方法論Ⅲ	1	30
●老年看護学		
老年看護学概論	1	30
老年看護学方法論Ⅰ	1	30
老年看護学方法論Ⅱ	2	45
●小児看護学		
小児看護学概論	1	30
小児看護学方法論Ⅰ	1	30
小児看護学方法論Ⅱ	1	15
小児看護学方法論Ⅲ	1	30
●母性看護学		
母性看護学概論	1	30
母性看護学方法論Ⅰ	1	15
母性看護学方法論Ⅱ	1	30
母性看護学方法論Ⅲ	1	30

3		
科目	単位	時間
●精神看護学		
精神看護学概論	1	30
精神看護学方法論Ⅰ	1	15
精神看護学方法論Ⅱ	2	45
●臨地実習		
成人看護学実習Ⅰ	2	90
成人看護学実習Ⅱ	2	90
成人看護学実習Ⅲ	2	90
老年看護学実習Ⅰ	2	90
老年看護学実習Ⅱ	2	90
小児看護学実習	2	90
母性看護学実習	2	90
精神看護学実習	2	90
計	38	1,305



4		
科目	単位	時間
●在宅看護論		
在宅看護概論	1	30
在宅看護方法論Ⅰ	2	45
在宅看護方法論Ⅱ	1	15
●看護の統合と実践		
看護管理と研究	2	45
災害看護と国際協力	1	15
看護の統合と実践Ⅰ	1	15
看護の統合と実践Ⅱ	1	30
計	9	195
●臨地実習		
在宅看護論実習Ⅰ	1	45
在宅看護論実習Ⅱ	1	45
総合実習	2	90
計	4	180

ポイント!!

置賜地区内で臨地実習可能

- ・三友堂病院
- ・三友堂リハビリテーションセンター
- ・三友堂訪問看護ステーション
- ・米沢市立病院
- ・米沢市立病院訪問看護ステーションつむぎ

- ・介護老人福祉施設 花の里
- ・介護老人福祉施設 サンファミリア米沢
- ・興道東部保育園
- ・興道こども園どんぐり
- ・興道南部保育園
- ・興道北部保育園
- ・興道プチハウス
- ・塩井保育園
- ・米沢中央保育園
- ・米沢市健康課すこやかセンター

- ・川西町健康子育て課
- ・高島町健康長寿課 げんき館
- ・公徳会佐藤病院
- ・公徳会トータルヘルスクリニック
- ・米沢市地域包括支援センター
- ・米沢市社会福祉協議会 地域包括支援センター
- ・成島園地域包括支援センター
- ・おいたまの郷 地域包括支援センター
- ・サンファミリア米沢 地域包括支援センター

実習施設一覧

年間行事カレンダー



4

April

学校行事

- 入学式
- ガイダンス

学生行事

- 新入生歓迎会

5

May

学校行事

- 定期健康診断

学生行事

- 学生自治会総会
- 県内看護学生・親睦会

6

June

学校行事

- 3年研修旅行



7

July

学校行事

- 夏期休暇



8

August

学校行事

- ケーススタディ発表会
- 3学年合同研修

9

September

学校行事

- 2年基礎看護学実習Ⅱ
- 2年生戴帽式
- 前期終了

10

October

学校行事

- 学校祭(三看祭)
- 防災訓練

学生行事

- 体育祭・芋煮会
- 三看祭



11

November

学校行事

- 1年基礎看護学実習Ⅰ

12

December

学校行事

- 冬期休暇



1

January

学校行事

- 2年専門分野Ⅱ・統合分野実習開始



2

February

学校行事

- 国試壮行会
- 国家試験

3

March

学校行事

- 卒業式
- 学年末休暇
- 後期終了

学生行事

- 卒業生を送る会

看護師国家試験合格率(過去5年間)

年度	令和2年度 110回	令和元年度 109回	平成30年度 108回	平成29年度 107回	平成28年度 106回
本校合格率	92.3% (新卒合格率94.6%)	94.7%	100%	97.6% (新卒合格率100%)	97.4%
全国平均	90.4%	89.2%	89.3%	91.0%	88.5%

卒業時取得資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師・助産師学校受験資格
- 養護教諭養成課程受験資格
- 大学編入受験資格
- 看護専門士

卒業生進路状況(過去5年間)

■県内

三友堂病院/米沢市立病院/独立行政法人米沢病院/公立置賜総合病院/特定医療法人舟山病院/公徳会佐藤病院/公立高島病院/みゆき会病院/山形県病院事業局/山形大学医学部附属病院/東北中央病院/山形済生病院/山形徳洲会病院/篠田総合病院/至誠堂総合病院/小白川至誠堂病院/北村山公立病院/庄内余目病院/鶴岡協立病院/鶴岡市立荘内病院/本間病院/米沢弘和会/特別養護老人ホームそよ風の森

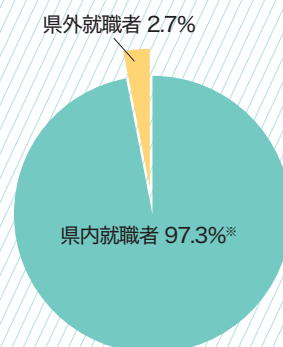
■県外

仙台厚生病院/長町病院/大崎市民病院/大原総合病院/福島赤十字病院/福島県立医科大学附属病院/雄勝中央病院/東京臨海病院/東京歯科大学市川総合病院/戸田中央総合病院/イムス三芳総合病院/新松戸中央総合病院

■進学

福島総合衛生学院(助産学科)/宮城大学看護学部/飯田女子短期大学専攻科(助産学専攻)

就職および進学状況(令和2年度)



※うち置賜地区 86.5%、村山地区 8.1%、庄内地区 2.7%



看護学校を卒業して、 現在看護師として活躍されている先輩達の体験談です！

卒業生の声 1

第37期生 令和2年度卒業
金田 輝



3年間の学生生活を振り返ると、多くのことを学び、経験することができました。講義では外部の講師の方々より、専門的かつ臨床で求められる知識や技術を学び、また体験することが出来ました。

臨地実習では講義で学んだ知識をより一層深めることができ、さらに各領域の特色や看護の実際を経験することができました。しかしながら、看護の難しさや患者様との関わり方で悩んだり、男性であるため苦労する場面もありました。その度に同じ実習班の仲間や先生方に助けてもらい、乗り越えてきました。また、自分が考える看護を実施できるように、遅い時間まで先生方が残ってくださり熱心に指導して頂いたこともありました。

女性が多い環境で過ごしていけるか不安な方もいると思います。私も入学当初はそのように考えていましたが、楽しいことや大変なことを仲間や先生方と経験し、不安は無くなり自分を成長させてくれました。

入学を考えられている皆さん。看護学校での経験は糧となり自分を成長させてくれるはずです。同じ目標を持った仲間と目標実現のため支えて下さる先生方と共に3年間を過ごし、自分の目指す看護師像を是非見つけてほしいです。

卒業生の声 2

第36期生 令和元年度卒業
金子舞穂



私は母の病気がきっかけで看護師を志しました。入学当初はこの道で合っているのか、自分が本当に看護師になることができるのかなどと不安を抱えていました。しかし、三友堂看護専門学校でたくさんの人と出会い学んでいく中で、自分自身の成長を実感できる場面があり、いつしか不安が希望に変わっていました。

私は看護学生として過ごす中で、素敵な出会いに恵まれていると感じる瞬間が何度もありました。同じ目標を持つ心の優しい仲間達、熱心にご指導して下さる先生方、実習施設の方々、私たちを快く受け入れて下さる患者様とご家族、たくさんの人と関わらせていただく中で、より多くの学びを得ることができ充実した3年間を送ることができました。

時に苦しく、辛く、悩んだり落ち込んだりすることもありましたが、今思い返すとすべては自分自身の学びの場であり、成長に繋がると共に強みに変えていけるものであったと実感しています。また、そんなときにいつも側で支えてくれる家族の存在も大きいと感じることができました。

看護学生として過ごす時間は一人の人間として大きく成長することができる素晴らしい時間です。みなさんもその時間を三友堂看護専門学校で過ごしてみませんか？

卒業生の声 3

第35期生 平成30年度卒業
芦野美里



3年間の学生生活の中で、辛いこと、楽しいこと様々な経験がありました。特に臨床実習では看護の難しさに触れ、挫けそうになったこともありました。しかし、そんな時でも同じ目標に向かって共に頑張る仲間や、親身になりご指導して下さった先生方の存在がとても大きな力になりました。臨床実習は緊張しますが、卒業生の先輩や講義を担当して下さった方々も多くいらして丁寧に指導して下さることも魅力の一つです。また様々な病棟での実習を通して幅広い知識や技術を習得し、看護の奥深さや多様性を学び、看護とは何かを深く考えることができました。

学校生活では、少人数のクラスの中に、現役生はもちろん、社会人経験のある人、子育てしながら通う人など様々な背景をもったクラスメイトがいて、色々な刺激を受けました。

看護学校での3年間は、大変なこともたくさんありますが、一つ一つ乗り越え、成長していく自分を実感できるはずです。みなさんも同じ志を持つ仲間と共に、この学校で楽しい学校生活を送りましょう。

卒業生の声 4

第34期生 平成29年度卒業
山口 渚

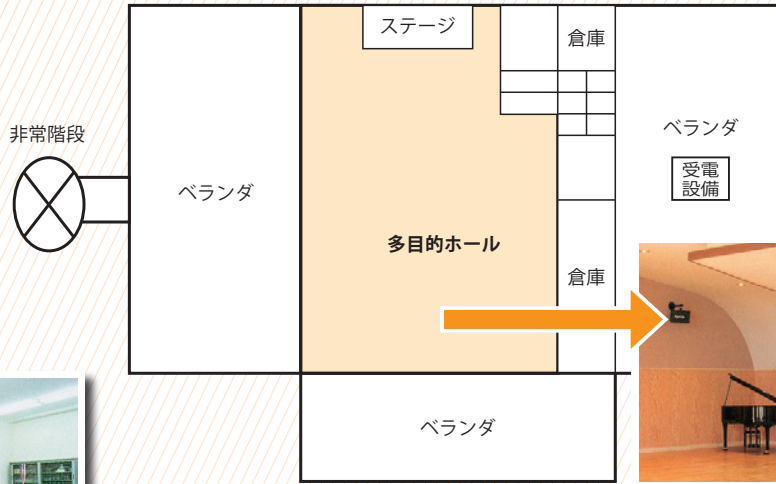


私は3年間の学生生活を通して、沢山のことを学びました。講義では学校の先生方だけでなく、外部の講師の方々から現場の生きた知識をお聞きし、その後の臨地実習に生かすことができました。また、超高齢社会が進んでいる今、重要視されている予防医療であることを日々の学習の中で知りました。そこで私は地域の人々の生命・生活・生きる権利を衛るための役割を担う保健師に興味を持ち、進学を考えるようになりました。しかし、自分で受験勉強の時間が確保できるのか、どのような対策をすれば良いのか不安な思いがありました。3年生の平日は実習が毎日あり、なかなか進学に向けた学習に取り組むのは難しい状況でした。その中でも、先生方が私の進路について親身になって話を聞いて下さいました。そして、受験に必要な書類や過去問の添削をして下さり、合格に向けたバックアップをして下さいました。そのおかげもあり、実習と受験を並行しながらも無事に志望校に合格することができました。

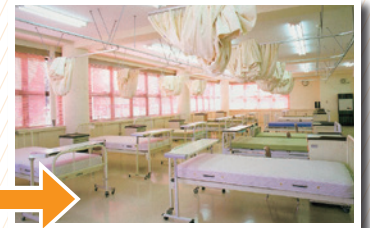
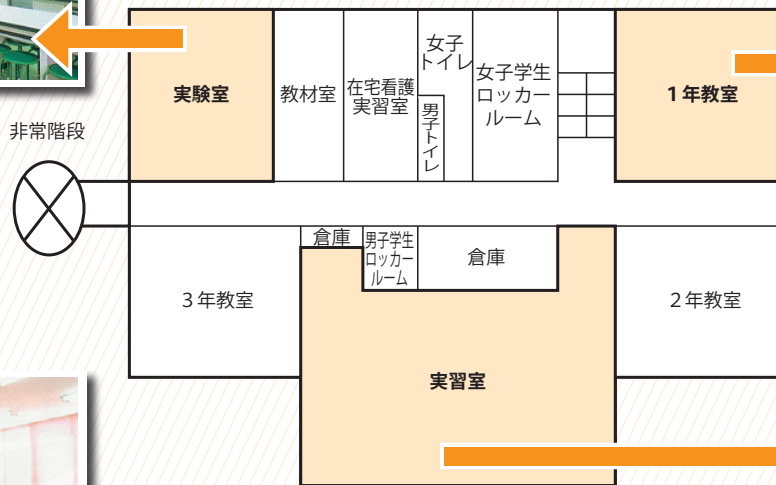
これから入学を考えているみなさんも、学校で看護学の専門的な学習を進めていく中で、私のように保健師の道や、他にも助産師、養護教諭などの看護師とはまた違った道に進みたいと思うことがあるかもしれません。そのような場合でも、自分の進路に向けて支えて下さる先生や職員の方々がいっぱいます。3年間の学びを通して、理想の看護師とは何か、自分の本当にやりたいことは何かを同じ志を持つ仲間とともに見つけてみませんか？

三友堂看護専門学校 平面略図

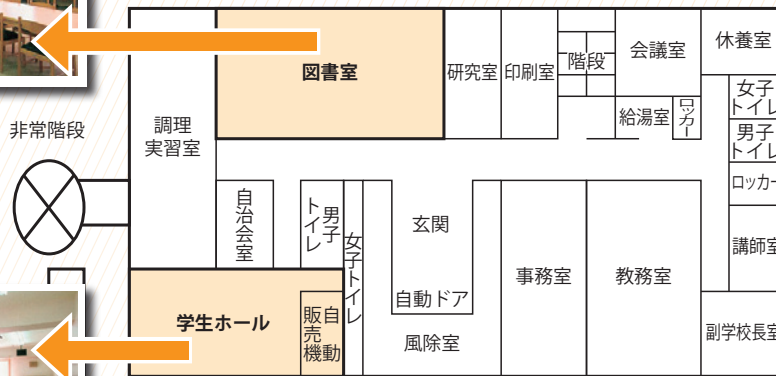
【3階】



【2階】



【1階】



三友堂看護専門学校

〒992-0045 山形県米沢市中央7丁目5番3-1号
TEL 0238-23-6470 FAX 0238-23-6473